

特集

異常も事前キャッチ、迅速対応 24時間安心・安全のサービス提供



38

ビフォーアフター●すすき野団地C駐車場（神奈川県横浜市）

ユーザー訪問●（株）不二ビルサービス

キューブ MARCH 2009

「Audi Approved広島」の シースルーパーキング

Audiの認定中古車を扱うショールーム「Audi Approved広島」がオープンしました。

この建物には、大型ハイルーフ車が4台、大型乗用車が30台収容できるエレベータパーキングが併設されています。

最大の特徴は、外壁の一部がガラス張りになっており、格納している車が外から見えるシースルー構造になっていることです。また、出入り口を二か所設置し、エレベータパーキングから1階ショールームの商談スペースまで車を直接出し入れ出来るレイアウトになっています。



▲シースルー構造（矢印）は遠くからでも人目を引くのに十分だ

【概要】

- 所在地：広島市西区大宮1丁目27番1号
- 事業主：株式会社コンクエスト
- 設計・施工：広島菱重興産株式会社
- 機種：エレベータパーキング【機械駐車】
- 型式：TJGD-(30/4)-IKEPx1(180°)



▲「Audi Approved広島」のエレベータパーキング

IHI
PARKING SYSTEMS

IUK 石川島運搬機械株式会社 <http://www.iuk.co.jp/>
 東京 03-5550-5794 静岡 054-255-8965
 横浜 045-664-5495 関西 06-6281-2025
 北海道 011-272-9077 中国 082-297-4033
 東北 022-211-9951 四国 087-823-2321
 中部 052-586-3261 九州 092-771-7275

IKK 石川島建材工業株式会社 <http://www.ikk.co.jp/>
 東京本社 03-5221-7228 大阪 06-6281-2145
 札幌 011-222-1698 広島 082-247-5222
 仙台 022-267-2661 福岡 092-713-6298
 名古屋 052-565-8370

異常も事前キャッチ、迅速対応

24時間安心・安全のサービス提供



特集



【バスク (PaSCC)】

パーキング・サポート・アンド・コントロール・センターの略でPaSCC (バスク) という。IUK社内の一角に設置されており、メンテナンス事業部下の部門。専門のオペレーターが24時間体制で顧客に対応する。IT技術を駆使した支援システムで、運転指導から復旧支援、サービスエンジニアの出動までフルサポートしている顧客総合窓口である。多数のモニターをオペレーターがチェックし、異常が発生するとすぐに画面に表示され、担当者が指示を出せるようになっている。また、電話での指示や指導も行っている。

端末類でモニターしながら、「バスク」でコントロールするスタッフたち

駐車場の「遠隔監視保守システム」

北海道から沖縄まで、全国津々浦々に散らばっている駐車場。その稼動をいかに故障なくスムーズに行い、不備のないように保守点検していくか——これは利用者のみならず、駐車場経営者である顧客や駐車場メーカーにとっても重要な課題である。そこで今回は顧客の駐車装置とIUK (石川島運搬機械) をネットワークで接続する最新の「遠隔監視保守システム」とそれを監視するバスクを紹介する。遠隔地であっても的確な保守点検・分析を行えるという画期的な仕組みだ。同システムを導入しメンテナンスを行うことにより、パーキングの故障予知や使用年数を延ばすこともできるようになった。「24時間365日、安心して駐車場を運営できる」と顧客からも好評を得ている。

私の“原点”はコインパーキング

生まれてから (結婚で) 山形放送を去るまでの27年間、生粋の“山形っ子”でした。運転免許は大学2年の冬に取得したんですが、路上教習がいきなり雪道! 信号でスリップするわ、坂道で後ろに滑りだすわ…で、助手席の教官が自分のシートベルトを必死に握りしめていた姿を今でも思い出します。

免許を取ってからはハンドルを握らない日がないくらい、とにかく運転が楽しくって、またそれがかけがえのない時間で、よくひとりで5時間も6時間も当てもなく車を走らせたりしました。それが、私にとって最高のストレス解消法だったんです。

そういえば、山形放送の面接試験の時もギリギリまで運転席にいました。当時、お気に入りのコインパーキングがあって、そこに車をとめて、何十分もひとりでブツブツ、ブツブツと面接のシミュレーションを繰り返していたんです。リラックス出来る場所で、集中出来る空間が持てて、本当によかった!

そんな時間があつたからこそ、“今の自分”があるんだと思うんです。

今も、毎日の仕事に車は欠かせません。取材の時にはディレクターやカメラマンなど、取材クルー6~7人が一緒に1台の車で移動するんですよ。さすがに私はハンドルを握らせてもらえませんが…。専門のドライバーがちゃんとして、移動の多い取材では、彼らが一番の“緑の下の力持ち”的存在なんです。先日も、朝一番に銚子で漁港口、そのあと午後は横浜で…というスケジュールだったんですが、私たちが後部座席でグーグー、グーグー寝ていても、ドライバーは取材時間に遅れないよう必死に車を走らせているわけで…。本当にいつもありがとうございます!

そんなドライバーにとって唯一ほっと出来る場所が駐車場。“空いてよかった!”とは、まさにこの事ですね。ベテランの方だと、取材先に一番近く、なおかつ (車で待っている自分用に) トイレが借りられるような場所もちゃんと考えて駐車場を選んでいるから、さすがです! 取材の間は、大体仮眠を取って待っていたりしますが、一度アロマセラピーで使うペーパーミントの精油を染みこませたティッシュを渡したら、大変喜んでくれたことがありました。「ちょうど風邪をひいていて、頭がボーッとして仕方がなかった」んですって。取材後に車に戻った私たちも、爽やかな香りが漂う車内で疲れが吹き飛びました。

これから“ドライブ・アロマセラピー”を流行らせちゃおうかしら。仕事の効率も上がるかも!?



キューブ・インタビュー



旗本 由紀子

HATAMOTO Yukiko
フリーアナウンサー

1968年、山形県生まれ。山形放送に入社、アナウンサーに。1996年、結婚を機に退社し上京、フリーアナウンサーとなる。現在、TBSテレビ「はなまるマーケット」はなまるアナとして活躍中。またAEA J認定アロマセラピスト、JAMHA認定ハーバルセラピストなどの資格を取得し、アロマとハーブのプロとして専門学校非常勤講師も務めている。

CONTENTS

「CUBE」・「立体」の意。三次元的な思考を要する時代の担い手でありたいという希望をこめた誌名。

- 2 ■ON THE WAY/キューブ・インタビュー
私の“原点”は
コインパーキング
旗本 由紀子/HATAMOTO Yukiko
フリーアナウンサー
- 3 ■PARKING FRONTIER/特集
異常も事前キャッチ、迅速対応
24時間安心・安全のサービス提供
- 7 ■PARKING NEWS/パーキングニュース
地球温暖化防止への取り組みと
都市美観、憩い・集いの場づくり
- 8 ■BEFORE AFTER/ビフォーアフター
優れた信頼性と技術力に実績
そして容易な操作性が高評価に (神奈川県横浜市)
- 10 ■IKK CUSTOMER'S REPORT/ユーザー訪問
地域に根ざし、街の活性化に役
ゆつたりスペースの車室 有人管理&エレベーター付き好評
(株)不二ビルサービス
- 13 ■Q&A CUBE'S ADVICE/キューブズ・アドバイス
立体駐車場の冠水対策はどのように?
複数基連立の場合の待ち時間短縮は可能?
- 14 ■World Information/海外の駐車場事情
ロシアや中東へ参入意欲《ソウル》
——将来は日本のライバル的存在に——
- 15 ■CUBE CLIP/IUKからのお知らせ
・IHIフォークパーキング1号機受注 ・キュービックパーキング稼動中
・新型チェーン二段式スペースキット1号機完成

駐車場と「パスク」で結び サービスセンターと連携

「これまでは係員が一つひとつ現場まで出向いて機械を点検していたのですが、独自に『遠隔監視保守システム』を開発しました。これを2003年に導入して状況は一変しました。このシステムを取り入れたのは業界で当社が初めてです」と語るのはIUKパーキングメンテナンス事業部の川村部長だ。



IUKパーキングメンテナンス事業部
川村部長

まずはその概要を紹介しよう。「遠隔監視保守システムの仕組み」の図を見てほしい。ここにあるように、契約

駐車場とパスク（PaSCC）と呼ばれる監視センター、サービスセンターの三者が互いに連携することによってシステムを稼働させている。

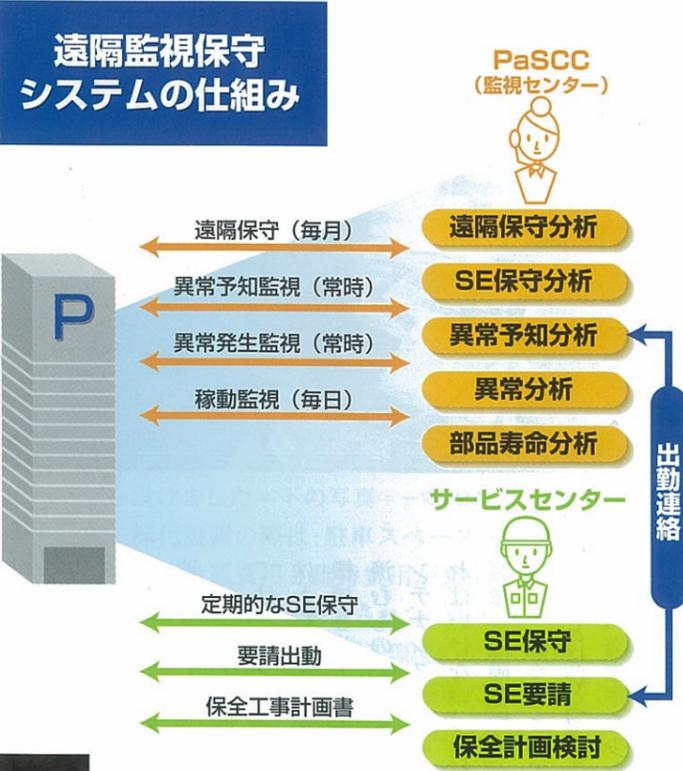
さまざまなシステムで 遠隔保守・異常予知監視

パスクが契約駐車場に対して行う業務は主に次のものがある（次ページの図参照）。

- 1・遠隔保守（毎月）
遠隔点検運転による設備の定量計測を毎月実施し、安全および非常回路の作動検査と機械の停止位置を検査する
- 2・異常予知監視（常時）
常時自動運転の動きを監視し、故障の前兆を察知する。
- 3・異常発生監視（常時）
常時作動して異常発生を検出し、異常内容と、機械状況をパスクに自動通報し、サービスエンジニアに出動指示を出す。
- 4・稼働監視（毎日）
毎日の機械の稼働状況を分析して、部品寿命と給油調整を監視する。
一方、各地にある「中継センター」とも言うべきIUKのサービスセンターは、契約駐車場に対して①定期的なSE保守②SE要請出動③保全工事計画の検討、などを行う。



ドアプロテクターの稼働点検



た異常や故障に関する連絡を受けて現場で迅速な対応を担当する。機械に油を差すなどの作業は遠隔ではできないため、現在もサービスセンターの作業員が行っている。

契約駐車場にとってはこのシステムができたことでパスクやサービスセンターと常に連携して情報を共有し、問題をクリアにできるようになった。故障が発生してから作業員が現場に出動（到着）するまでの時間も短縮され、駐車場からは「より安心感が強くなった」と好評を得ている。

人員不足をカバーして 同レベルのサービス実現

同システムは全国に57か所あるサービスセンターと79か所ある協力会社などの協力も受けて日夜稼働している。設置している駐車場は主にエレベーターパーキングだが、まだほかの機種や複雑な形態には導入されていない。

川村部長は「制御のほうを追いついていないので、すべての駐車場で導入できるシステムではありませんが、今後、さまざまな駐車場に対応するべく、研究開発に取り組んでいく予定です」と話している。



緊急時にパスクに連絡できる直通電話が備えられている駐車場もある



車を搬送するケージが水平に保たれているかどうかを計測



パスクと直結するセンサーなどの機器を点検するスタッフ

同社がこのシステムを導入した背景には人材不足という問題があった。リクルーティングには力を入れていたものの、宿直があるなど体力を要する仕事なだけに、常に人員は不足している状態だ。そこで人員の負担をできるだけ少なくして機械化すること、顧客の要望に迅速にこたえることを目指してきた。そして駐車場の利用も昼夜を問わず、24時間の監視システムの必要性を認識したという。

「システムの導入により、従来は毎月作業員が点検するところを2か月に1回で済むようになった点や、全国どこでも同レベルのサービスを提供できるようになったことが大きいですね」



地球温暖化防止への取り組みと 都市美観、憩い・集いの場づくり

地球温暖化、異常気象、ヒートアイランド、CO₂削減……。

新聞・テレビを賑わす昨今、対策を講じるには一時的猶予も許されません。

社会基盤のひとつである駐車場においても、地球温暖化防止の取り組みが求められます。

駐車場にできること——

I K Kでは、自走式駐車場の屋上階全面に緑地

を設けました = 下の写真 =。

緑化設置の際は、駐車スペースを削減するだけでなく設置費用と維持費用が発生しますが、関係法令と補助制度も整備されつつあります。

都市部の緑地確保は周辺環境に大きく貢献します。

地球温暖化防止に有効な機能だけでなく、美観向上、憩いと集いの場として有益な施設として期待されています。



東京都江東区豊洲の自走式駐車場

PDA導入し一元管理 進むコンピュータ化

(川村部長の話) という。

また、遠隔監視保守システムと同じ時期に、PDA(携帯情報端末)による点検報告書の作成システムも導入した。従来は点検終了後にすべて手書きで行っていたが、2005年からはPDAで記入するようになった。



最前線のIUK第9サービスセンター

「コンピュータ化することで各駐車場の情報をサーバに吸い上げ、一元管理ができるというメリットもできました。これも作業員の負担を減らすことにつながりました」と川村部長は副次的なメリットを挙げる。

今後さらに力を入れていきたいのは人材教育の強化、そしてメンテナンスだ。静岡県にある研修センターを活用し、定期的にメンテナンスに関する数日間の集中研修を行っている。研修では作業員同士が顔を合わせるため、そこで情報交換もできる。

こうした研修をきめ細かく行うことで、異常が発生した際にバックアップするときにもスタッフ同士がお互いの顔を知っているため、連携がうまくいくという。メンテナンスに関しては、コンピュータ化はもちろん重要だが、機械とサービスだけで済むものではなく、メンテナンスが伴わなければいけない。川村部長は「故障は顧客、利用者、我々にとってもよいことはひとつもない。故障の発生率を少なくするためにもメンテナンスをしっかりとって



第9サービスセンターの今関所長

くことが大切だと考えています」と話している。

3人1組でメンテ巡回 夜間には緊急出勤も

実際にメンテナンスなどを行っている東京都中央区にある高層マンションの契約立体駐車場を訪ねた。近年、都内でもとくに新築の高層マンションが急激に増えているという中央区を中心に管轄しているのは東京第9サービスセンターだ。

都内には地域ごとに全部で9か所のサービスセンターがあり、ここはそのひとつ。メンテナンスなどを行うメンバーは7人で、交代制で24時間365日稼働している。第9サービスセンターの今関益男所長は「月島や佃、晴海、豊洲などのビルやマンションの機械式駐車場の保守点検、改修工事、故障対応などを行うのが私たちの任務です。通常3人1組でエンジニアがチームとなり、1日2

4件の駐車場を回って点検しています。ときにはお客様の迷惑にならないように夜間に行つこともありますね。バスからの緊急連絡が入った場合には、昼間であれば10〜20分で現場に駆けつけていますし、夜間の緊急出勤もあります」と話す。

今回、取材に訪れた高層マンションの駐車場には68台収容できる駐車場が4機あった。この日は通常行う点検と同様、エンジニアがワイヤの伸びを計測するレベル計測のチェック、制御盤のメンテナンス、駆動部のメンテナンスなどを一通り行った。

駐車場の入り口にはバスに直接つながる緊急電話が設置されており、駐車場の利用者は、駐車場内で何か問題が発生した際、すぐに自分で電話を掛けられるようになっていた。

「お客様からは携帯電話やカギを落としたという程度のものから、原因がすぐにつかめない難しい問題まで、さまざまな問題が寄せられます」(今関所長の話)というが、バスができてから対応が速くなり、サービスも向上したという。

今関所長は「メンテナンスにはもちろん細心の注意をしていますが、いちばん大切なことはエンジニアが丁寧に接客して対応すること。技術面だけでなく、笑顔で接客し、お客様に安心して使っていただける駐車場を目指したい」と話している。



神奈川県横浜市青葉区すすき野は、1973年に土地区画整備事業により開発された地域。開発以前は、ススキが多く自生していたことからすすき野という町名が付けられ、そこに大規模なすすき野団地が建設された。周辺にも多くの団地が建設され、現在は、保育園・小学校・中学校をはじめ、大学もあるアカデミックな雰囲気をもつ住宅街となっている。

今回、入れ替えの対象となったのは、すすき野団地C駐車場のピット二段式立体駐車場。入れ替えの話は、平成19年の6月19日に入った1本の電話から始まった。当時のすすき野団地理事長だった早川さんから「現在使用しているチェーン式の立体駐車場が古くなり騒音源にもなっていることから、音が静かな油圧式装置に入れ替えることを検討しています。ついては、現地調査などをして急ぎ見積書を出してください」

■すすき野団地C駐車場(神奈川県横浜市)■

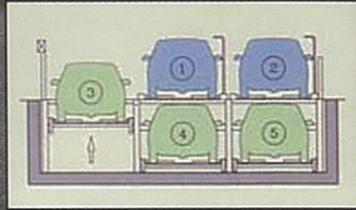
優れた信頼性と技術力に実績

そして容易な操作性が高評価に

After



▲駐車場のすぐ後ろは住居棟。この環境で入出庫に伴う音に対するクレームはほとんどなくなった



にサジ加減が必要だった。中原前理事長は、「車が踏み台を通るとききの音を気にしていました。でも、うまくやつてもらって音もあまり出ません」と、工事のできに満足している。

もう一つ、これまでの駐車スペースの図面を変えられないため、入庫できる車種が限定されるという条件だ。それをクリアして、全長4・850m、全幅1・850m、全高上段2・100m、下段1・550mのスペースを確保。車重量は2000kgまで入庫でき、新たにトヨタアルファード、トヨタクラウン3・5アスリート、日産スカイラインクーペ350GTなどの入庫を可能にした。

その結果、利用者の声は上々。その理由の一つに、年配者でもスムーズに入出庫できる操作性がある。住民が高齢化の中で、誰にでも簡単に操作できることが評価されているようだ。中原前理事長は、「危険性がないことが一番です。誰が使っても操作性に問

▲駐車施設と側溝の間の段差解消のために設けたカバー。微妙な調整によって車の通過時の音が出なくなった



早川前理事長(右)と中原前副理事長

い」という電話だった。

その2日後、現地調査にうかがって調査後見積書を提出。そのとき、なぜご指名をいただいたのかを聞くと、2つの理由を説明された。まず、当該駐車場が古くなり、今後、部品交換費用が高額になるため。もう一つは、隣接する駐車装置が旧ダイキン製油圧式装置(平成18年の4月にダイキンからIUKに譲渡)で、利用者から評判が良いからだという。IHIグループの実績と油圧式装置に高い評価を得た結果といえる。

その後、IUKメンテナンス営業部の長谷川稔部長とサービスセンターのスタッフで理事会で工事説明を行った。上昇は油圧、下降は自重で動くため騒音・振動対策に大変すぐれている。

当時の副理事長だった中原さんは、「あのときは感心しました。出席者全

題はありません。ただ、本当はほみ出したまま駐車するとプザーが鳴る機能もほしかったのですが、予算的に無理だったので今回はできませんでした」と言う。

しかし、住居棟に隣接する駐車場で、住民は音に敏感になるだろう。そんな環境の中で頻繁にプザーが鳴ると、クレームが出てくるおそれがある。その意味でも、側溝にカバーした踏み台で駐車するときの音を極力軽減したことが評価を得ているといえる。早川前理事長は、「現状でクレームがないことが満足している証拠です。私は、質的にいい駐車機だと思っています」と話している。

さらに中原前副理事長は、団地ならではの発注の苦労を「私たちの役員の任期は2年です。その2年間で予算を決め、施工した後の管理を次の役員に任せるといって進めます。その中で、自分が担当したときにはきちんとした会社に頼んで、きちんとした物を作ってもらわないと、引き継いだ後が心配なんです」と話す。

すすき野団地理事会の役員たちが決めた条件は、一つは信用ある会社、二つめは技術力、三つめは何かあったときの対応だった。それを前提にして、理事会の公聴会を開いてヒヤリングを行った。それらの条件に合致した当社のプレゼンテーションが認められたといえるだろう。



▲入れ替え前のタイプの二段式駐車場

Before

IKK CUSTOMER'S REPORT

ユーザー訪問

▼「地域に貢献したい」と熱っぽく語る大久保社長(左)と関口営業本部長



(株)不二ビルサービス

代表取締役社長
大久保 光好さんを訪ねて



▲アトレマルヒロ契約駐車場の外観。駅から徒歩3分の距離にある

地域に根ざし、街の活性化に一役 ゆったりスペースの車室 有人管理&エレベーター付き 好評

「小江戸」と呼ばれ独特の江戸文化を育んできた埼玉県川越市。土蔵造りの家並みが美しい「蔵の街」はレトロな雰囲気も人気を呼び、大勢の観光客が訪れる観光スポットになっている。一転して東武東上線・川越駅前にはファッションビル「アトレ」やマンションが立ち並び一味違った趣を醸し出している。同地区で総合ビル管理を行っている老舗企業が不二ビルサービスである。地域に密着した、きめ細かい駐車場サービスで川越を中心に地元の顧客から高い信頼を獲得している。

最初のターゲットは
丸広百貨店支店の顧客

東武東上線・川越駅東口から徒歩3分。閑静な住宅と商業施設とが混在するエリアに建つのは「アトレマルヒロ契約駐車場」。駅前からつながらる通りを歩いてみると、すぐ大きな看板が目飛び込んでくる。

同駐車場が完成したのは今から7年前の平成14年(2002年)。埼玉県内を中心に展開する丸広百貨店の支店のひとつ、マルヒロアトレ店の誕生後、同店の顧客を主なターゲットとして建設された。駐車場は簡易自走式駐車場で連続傾床式。2層3段で130台を収容できる。1階には管理人が2人常駐し、自動車の誘導を行っている。ハイルーフなどほとんどすべての自動車に対応

所を設立して地道に事業を拡大してきた。丸広川越店、本川越店などの立体駐車場を管理してきたあと、マルヒロアトレ店の契約駐車場を自社で建設し、管理も行ってきた。大久保光好社長は「この20年来、駅前の開発は進み、自動車も増えて駐車場事業は右肩上がりでした。このあたりも川越駅の需要にともなってコインパーキングが増えていきました。アトレ店地下にある駐車場が小さかったこともあり、近くの土地を活用して平面だけでなく2層3段式の駐車場を建設しようということになってここを建てたのです」と話す。これまで既に2件の実績があり、同社や丸広百貨店と1H1とは深いつながりがあり、信頼関係があったことから駐車場建設について、具体的な相談をしたという。そこで完成したのが同駐車場。

細部に心配り
8割以上が女性客

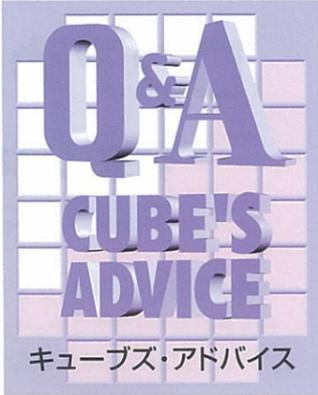
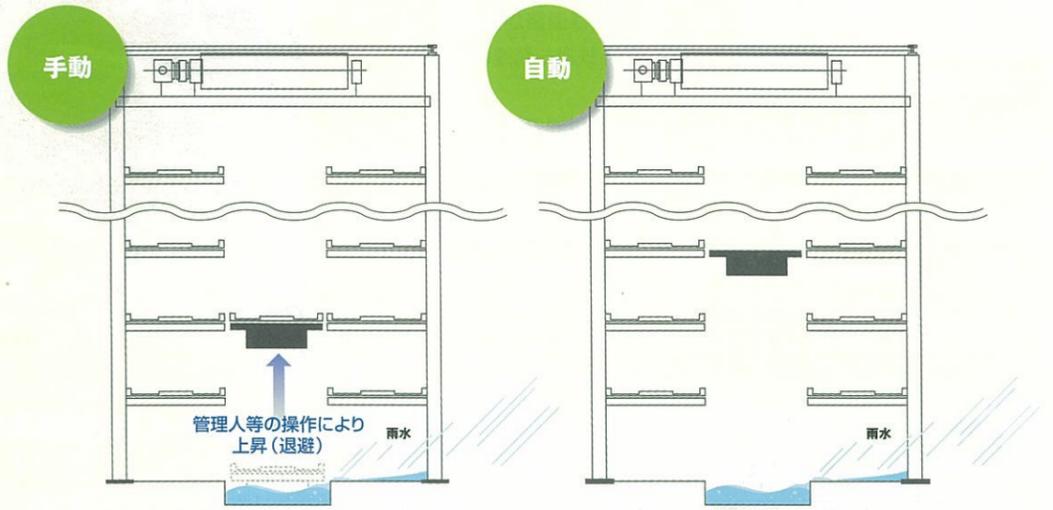
外観はオーソドックスな作りで大きな特徴がわかりにくいですが、中に入ってみると細部に心配りが目につく。たとえば、一見してわかるのは余裕のある車室。車と車の間には通常の駐車場以上に余裕があり、駐車者が苦手な人でも十分に駐車できるのはうれしいかぎりだ。

している。エレベーターもついており、2、3階への上り下りも便利と地元で評判の駐車場だ。管理を行っているのはビルの設備や整備などを手がける不二ビルサービス。昭和63年(1988年)に丸広百貨店の資本により丸広ビルサービスとして設立され、平成7年(1995年)に現在の社名である不二ビルサービスとなった。経営理念のひとつに「地域の安全確保など、地域社会に役立ち、尊敬される企業を目指す」とあるように、地域に根ざした経営で成長してきた。同社取締役営業本部長の関口茂夫氏によると、会社設立後、川越、飯能、東松山、南浦和など県内各所に営業

立体駐車場の冠水対策はどのように？

Q 立体駐車場の冠水対策はどのように行っていますか？

A 方法は2通りあります。
 1つ目は、大雨の時、管理人さんなどが立体駐車場の操作を行い、搬器（ケージ）を地上より数メートルの位置まで退避させる方法です（左下の「手動」図参照）。
 立体駐車場ピット内に雨水感知装置を設けておけば、ピットに雨水が浸入した時点で管理室などに信号を送ることが可能です。
 2つ目は常時、搬器（ケージ）を地上より上の位置で待機させる方法です（右下の「自動」図参照）。この方法は、出庫優先モードとも呼ばれます。
 入庫車・出庫車の動作後、パレットを格納棚まで格納し、その位置で搬器（ケージ）は停止します。格納作業が省略されるので、次回出庫車を呼び出す時間が短縮されます。



複数基連立の場合の待ち時間短縮は可能？

Q 立体駐車場が複数基連立だった場合、待ち時間を短縮することは可能でしょうか？

A 同一敷地に立体駐車場が複数基連立だった場合、入庫待ち時間を短縮することは可能です。
 具体的な方法は、複数基連立の立体駐車場を1基の立体駐車場と見立て、入庫予約をする時に、現在稼働していない立体駐車場に入庫するように誘導し、入庫待ち時間を短縮します。
 この方式には、「入庫予約盤」と「出庫予約盤」が必要になります。通常は、AさんはA号機、BさんはB号機というように、利用できる機械が決まっています。しかし、「入庫予約盤」を追加することで、機械の稼働状況によってAさんもB号機へ入庫できるようになります。
 また、出庫時に入庫した機械がわからなくなならないように、「出庫予約盤」を設置して、入・出庫の一括管理を行うことをお勧めします。



◀ 広い車室で利用者が「使いやすい」と評判が高い

また、柱などには他の駐車場の場合、耐火材など塗料を吹きつけているところが多いが、同駐車場では鉄骨のみで、塗料を使用していないため、排気やホコリの付着などがなく、すっきりしている。
 さらに非常階段には一段一段にラバーを掛けてある。鉄板だけだと女性のヒールやミュールがコツコツと響き、とくに深夜になると近所迷惑になることがあるが、ラバーをつけることで音が響かないようにした。
 有人管理駐車場であり、エレベーターがついているのでペーパークーヤ重たい荷物があっても安心だ。顧客からも「駅に近いし、車室が広いのも使いやすい。アトレの契約だということも安心な点」という声が聞かれる。



▲ エレベーターは年配の女性にとくに好評

関口営業本部長は「主な顧客は川越市内に住む人や仕事をされる人で、平日の日中2、3時間利用するタイプが多いですね。8割以上が女性で、とくに年配の女性が目立ちます」という。
 そのほか、週末には単身の男性が都心に出かける際に利用したり、埼玉医大に通勤する関係者が利用することもあるという。月ぎめで利用しているのは30台から40台だ。



▲ ベテランの管理人が常時2人いて親切に対応してくれる

のすぐ近くの土地に自走式の駐車場を建設します。同じ2層3段で116台の駐車車を予定しています。アトレの顧客を中心に、顧客がもつと増えるのではないかと語る。
 伝統的な町並みは活気にあふれているが、一方で地元の商店街は経営者が変わり、街の様相が変わりつつある。大久保社長は「地元を大切にしていきたい。川越の文化を守りながら活性化していきたい」という。
 今年春からのNHK朝の連続テレビ小説の舞台になっている川越。副都心線も開通し、人の流れも変化するなかで、「近隣に増えるコインパーキングとは一線を画し、安心で信頼できる駐車場を提供し続けたい」と大久保社長は話している。



▲ 駐車場の入り口。平日は女性の利用が多い

IUKからのお知らせ

CUBECLIP

IHIフォークパーキング1号機受注

IHIフォークパーキングの1号機を受注いたしました。普通乗用車16台、ハイルーフ車14台の合計30台を収容可能なホテル向けの駐車場です。

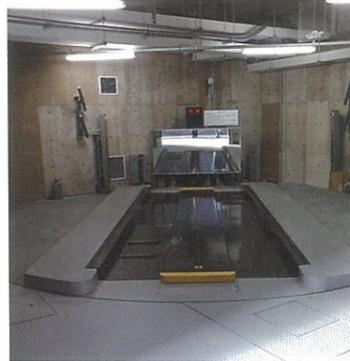
IHIフォークパーキングは、パレットレスとすることで円滑性を向上させた機械で、ホテルや営業用時間貸しなどの駐車場向けに最適な機械式駐車装置です。



キュービックパーキング稼動中

昨年1号機が完成したキュービックパーキングが順調に稼動しています。キュービックパーキングは「平面往復式駐車装置」に分類される、地下空間を最大限有効活用したコンパクトな機械式駐車装置です。また、リフトと台車と柵の同時駆動を可能としているので待ち時間が短く、利用者に喜ばれています。

IUKでは、キュービックパーキングのさらなる拡販に邁進しています。



CUBEに対するご意見をお寄せ下さい

CUBE編集部では、今後とも皆様の役に立つ情報をお届けしていきたいと思っております。

記事内容についてのご意見がございましたらお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせはIUKパーキングシステム営業統括部 原・吉澤までお願いいたします。

0120-809781
(URL) <http://www.iuk.co.jp/>
<http://www.ikk.co.jp/>

CUBE No.38

CUBE No.38 MARCH 2009

発行日●2009年3月31日
発行●石川島運搬機械 株式会社
パーキングシステム営業統括部
〒104-0044
東京都中央区明石町6-4 ニチレイ明石ビル
Tel.03-5550-5796 Fax.03-5550-5313
発行責任者●森田 松夫
ディレクション・印刷●富士ゼロックススワース株式会社
編集●株式会社 東京読売サービス
デザイン●株式会社 イオック
©石川島運搬機械 株式会社 禁無断転載複写

新型チェーン二多段式スペースキット1号機完成



群馬県前橋市の「グランヴィル前橋」様から受注したIUKの新型チェーン式スペースキット4F(地上4段横行昇降式)の工事が完成し、無事引き渡しを済ませました。

平成19年10月に新型チェーン式を販売開始してから順次ラインアップを増やし、約1年後に1号機が

完成しました。新型チェーン式はメッキ仕様になっており、耐久性に優れています。

IUKでは今後も新型チェーン式二多段式スペースキットの拡販に努めてまいります。

表紙と裏表紙の写真

表紙：大羽 りょう
裏表紙：Audi Approved広島（広島県）

ロシアや中東へ参入意欲

将来は日本のライバル的存在に



その3 ソウル編



●日本に次いで機械式駐車設備が普及

お隣の国、韓国の首都ソウルでは、日本と同様道路が整備され近代化されたビルが多く見られます。また、地下鉄網も発達しておりインフラが整った都市であると言えます。

機械式駐車場もいたるところで見られます。世界で最も機械式駐車設備が普及している国はもちろん日本ですが、韓国も中国と並び日本に次いで機械式駐車設備が普及している国であるといえます。

それ故、機械式駐車メーカーも多く存在し、互いに競争し合っているようです。市場の多くは倉庫式と言われる平面往復地下式、またはエレベータパーキングで、大手メーカーのほとんどがラインナップとして取り揃えています。



▲ソウル市中心部の二段式駐車設備

●テナントビルがメインの納入先

ソウル市の物価指数は世界トップクラスの高さで、東京以上と言われています。駐車料金に関しては日本ほどではないものの、1時間当たり200~300円程度の料金体系が多いようです。

一方で韓国の駐車場需要は今後多くを望めず、各メーカーが苦戦しているようです。日本の市場環境と違いマンション向けの需要が少なく、テナントビルが機械式駐車場のメイン納入先となっています。



▲ソウル市内のデパート駐車場の様子

●内需伸び悩み、海外進出へ

また、台数確保の付置義務はあるものの納入後、機械を使用しない場合も多いとのこと。それらの影響からか、日本では最も重視される「装置の円滑性、納まり寸法、騒音や振動」などの対策より、コストが最重要視されているようです。

そのせいか海外へ進出を試みる企業が多く、ロシア、中東など需要のある国で韓国メーカーが参入意欲を見せているようです。

今後IUKの海外市場でのライバルとして韓国メーカーが大きな存在になる事は必ずであると思われます。



▲ソウル市の繁華街「明洞」の様子